

されど天界は変らず

東京大学理学部天文学教室 OB 編
A5版 174頁 1500円
竜鳳書房 (Fax 0262-28-1105)

東京帝国大学の天文学教室が、太平洋戦争の末期、空襲をさけて長野県諏訪地方に疎開していた日々の記録である。戦後45年経った或る日、教室の古い資料の山の中から偶然に見つかった当時の日誌を軸に、関係者の思い出や感想、聞き語りなどを編み合わせて、意外なドキュメンタリー読み物を構成している。

第I章には、第二次疎開荷物が着いた1945年4月29日(天長節)に始まり、同年10月24日に故畑中武夫氏が後記した「安心! 安心! これで終り。」に至る上諏訪日誌と、8月2日から始まり、「スワに戻り、のみ残しの清酒3本ヒヤでのむ。ダンチャン ダウン。」という、8月20日の故石田五郎氏の文で終わる南安雲陸地測量部への動員記録が納められている。

第II章「天界を夢見続けた人々」には、第I章に挿入文のある三澤邦彦、檀原毅氏に続いて、進士晃、小尾信弥、ジョセフ M. 岡田、海野和三郎、大脇直明、守山史生、井田茂、北岡清の諸氏の最近の文章が納められ、前章の日誌に、転変の時代を隔てた光を照射している。上記の石田氏以下は、皆天文学科の学生であった。

第III章「若き天文学者たちとのふれあい」は、助手であった故古畑正秋、畑中武夫氏らと親しかったアマチュア天文学者五味一明氏を中心とする

当時の上諏訪地方の人々との生活を、座談などもとり交せて、ゆったりと語っている。この章は特にそうであるが、全篇を通じて図、写真、挿画などを豊富に収録することによって、そのドキュメンタリー性を高め、複数の時代でシャッターを切った風物誌ともいえる作品に仕上がっている。

当時上諏訪で講義をされた藤田良雄先生が、序文の中で、「その日その日の侘しい生活、乏しい食糧事情、時には農家の田畑の草取りのアルバイトをして帰って来た学生諸君が、今日は銀飯を食べたというはなしに羨望を感じずる私たちであった。」と述懐されている。そのような逼迫した時代状況と天文学を志す若者達という不思議なとり合せは、淡々と記され語られている本書に、期せずして、「人の営みとは一体何なのだろうか」という、重い問いかけをさせている。

敗色も濃くなった頃、訪ねて寄られた小平邦彦先生(数学教室)が、炬燵を囲んだ畑中助手に、「小惑星がニューヨークに衝突する確率はどの位ありますか。期待できませんかね。」と訊ねたと、守山氏が書いている。天文学的な議論は、その程度しかでてこない。ことさらに天下国家を論じているわけでもない。あくまでもこれは、一天文学教室の疎開の記録である。にもかかわらず、誰にでも一読を薦めたい好著である。資料の収集や編集に携わった人々の地道な努力が、本書の個性的な構成となって光っている。私は一気に読み通してしまった。

小平桂一

月報だより

国立天文台一般公開のお知らせ

国立天文台三鷹地区の一般公開が、1993年11月13日(土)13時から18時30分まで開催されます。本年のメインテーマは「すばるが拓く宇宙」で、すばる望遠鏡の建設の現況と完成後に期待される観測成果などを中心として展示・講演会が行われます。この所、毎年天気にある程度恵まれているので、見学者数が増え4000名を越える

ようになってきました。毎年一つずつ新しい試みをしており、今年は人気のある講演会をより充実するため、より収容力のある近くの大沢コミュニティーセンターをお借りして行う事にしました。又、開催日は学校の休みに合わせて第二土曜日とし、今後は毎年11月第二土曜日にする事を考えています。公開する施設は例年とほぼ同じですが、各場所での質問を受ける体制を充実する予定です。なお国立天文台には駐車する場所がありません。毎年、違法駐車のため周辺住民の方に御迷惑をおかけしていますので、車でおいでにならないで下さい。問合せ先

は国立天文台管理部庶務課庶務係で、電話は0422-34-3645です。 磯部琇三（国立天文台）

竹内延夫 Tel : 043-290-3849
FAX : 043-290-3857

人事公募

標準書式：なるべく、以下の項目にしたがってご投稿下さい。結果は必ずお知らせください。

1. 募集人員（ポスト・人数など）、2. (1)所属部門・所属講座、(2)勤務地、3. 専門分野、4. 職務内容・担当科目、5. (1)着任時期、(2)任期、6. 応募資格、7. 提出書類、8. 応募締切・受付期間、9. (1)提出先、(2)問合せ先、10. 応募上の注意、11. その他（待遇など）

京都大学理学部宇宙物理学教室教員

1. 教授 1名
2. (1)京都大学理学部宇宙物理学教室
(2)京都市左京区
3. 天体物理学
5. (1)決定後なるべく早い時期
7. ①履歴書 ②研究歴 ③業績リスト
④主要論文別刷（10篇程度）
⑤今後の研究計画
8. 1993年12月24日（金）必着
9. (1)〒606-01 京都市左京区北白川追分町
京都大学理学部宇宙物理学教室
主任 加藤正二 Tel. 075(753)3901
(2)同上

人事公募結果

国立天文台理論天文学研究系助教授

1. 公募掲載：1993年1月号
2. 氏名：梶野敏貴
3. 前所属：東京都立大学理学部物理学科
4. 着任時期：1993年9日
観山正見（国立天文台）

第7回ライダー実験における多重散乱国際集会 (MUSCLE 7)

日時：1994年7月21日（木）～7月23日（土）

内容：多重散乱の理論モデル（相互比較と応用）

コンピューターシミュレーション

数値モデルと実験の比較

ライダー信号反転求解法

他分野への寄与：光通信、医用、光エレクトロニクス

主催：千葉大学映像隔測研究センター MUSCLE 研究会

問合せ先：〒263 千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学映像隔測研究センター

第17回レーザーレーダ国際会議 (17th ILRC)

日時：1994年7月25日（月）～7月29日（金）

場所：仙台国際センター（仙台市青葉区青葉山）

主催：レーザーレーダ研究会、米国気象学会 ICLAS 分科会

内容：ライダーの応用（大気、衛星搭載、陸地、海洋、火山、汚染、国際観測、他）

ライダーの基礎（手法、データ解析、大気光学、分光）

レーザーリモートセンシング（ライダー技術、レーザ検出器、測距、補償、光学系、イメージング）

問合せ先：〒910 福井市文京3-9-1 福井大学工学部電気電子工学科

17th ILRC 実行委員長

小林喬郎

Tel : 0776-27-8557

FAX : 0776-27-8749

論文およびプログラムについての問合せ先：

〒263 千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学映像隔測研究センター

竹内延夫 Tel : 043-290-3849

FAX : 043-290-3857

研究会「木曾シュミットが拓いた天文学」のお知らせ

日時：1993年11月10日（水）～12日（金）

会場：長野県上松町勤労者福祉センター

問合せ先：東大木曾観測所

田中由美子 電話：0264-52-3360, FAX：-3361

e-mail : tanaka@kiso.ioa.s.u-tokyo.ac.jp

総合研究(B)「天文学計算機ネットワークの構築」(代表観山正見) 研究会案内

開催日時 1993年11月4日（木）

開催場所 東京近郊予定

天文学研究において計算機ネットワークの果たす役割は年々大きくなって来います。しかし将来の、大量データの転送、特に画像データの処理では、現在のネットワーク接続では不十分です。そこで、今後予想される VLBI やすばる望遠鏡から生み出させるデータの処理および大型理論シミュレーション計算の遂行において、どのようなネットワーク形態が日本の天文学研究の発展のために必要かを議論し、今後の見とをしを明らかにすることを

目的とした研究会を開催します。

おもなトピックは、天文学各分野でのネットワーク利用の現状と将来の需要予測、いろいろな接続形態のコスト評価、ネットワーク技術の今後の動向等です。参加御希望の方は、講演希望の有無、を世話人迄御連絡下さい。

世話人 国立天文台 小笠原隆亮

電話 0422-34-3632

FAX 0422-34-3746

電子メール ogasawara@nao.ac.jp

「計算機シミュレーションによる天文学の発展」研究会のお知らせ

開催日時 1993年11月5日～6日

開催場所 上の「天文学計算機ネットワークの構築」研究会に引続き同じ同じ場所で開催されます

1993年度国立天文台共同研究「星間雲の動的収縮過程のスーパーコンピュータによる研究」(代表富阪幸治)の一環として、上記の研究会を開催します。

近年、我が国のシミュレーション天文学は、スーパーコンピュータの能力を生かした研究で大きく進歩してきました。しかし、この間計算機の世界では、並列マシンや専用機の研究が進み、10GB以上ものメモリーを利用する大規模な計算が天文分野においても行なわれるようになってきました。これらを利用するには、並列化プログラミングといった、これまでにない新たな手法が必要になっています。

そこで第一線で計算機シミュレーションを進めている研究者による、研究成果だけでなく手法の交流、あらたな動向の勉強の機会となるような研究会を企画しました。講演・参加の申込は世話人までご連絡ください。

世話人：富阪幸治

連絡先：新潟市五十嵐2の町8050

新潟大学教育学部

電子メール：tomisaka@ed.niigata-u.ac.jp

FAX 025(263)1277

Tel 025(262)7269

第3回重力波天文学シンポジウム

主催 文部省科学研究費重点領域総括班

日時 1994年1月12日(水)～14日(金)

場所 東京大学山上会館大会議室

(113 東京都文京区本郷7-3-1 電話03-3812-2111)

内容 重力波検出器開発の現状、超高性能レーザー、ミラー等の技術、重力波発生理論、中規模レーザー干渉計建設計画、重力波天文学将来計画

連絡先 113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学理学部物理学教室

坪野公夫

電話 03-3812-2111 内線4141

Fax 03-3814-0647

e-mail: tsubono@t-munu.phys.s.u-tokyo.ac.jp

SUBARU での何を見るか?

—世界一の天文学をめざして—

下記の日程・内容で光天連シンポを開催することが決定しました。

内容：以下の3つのテーマについて理論的・観測的に十分な議論・レビューを行ない、それらの問題を解明するために、どのようなアプローチが可能であるかを検討する。その過程においてSUBARU望遠鏡の果たすべき役割・スタンスを考えるとともに、今世紀末までの展望を明らかにする。

日時：12月1日(水)～3日(金)

場所：兵庫県西はりま天文台

テーマ：1) Galaxy formation (谷口義明)

2) Star formation (長田哲也)

3) Planet Formation (上野宗孝)

(括弧内の名前はワーキンググループの世話人)

それぞれのテーマごとにワーキンググループを設け、合宿等を含めてシンポジウムまでに十分な議論・準備を行う予定です。ワーキンググループは運営委員会(光天連シンポ・プレ会議)の席上で名前が上げられた方、及び世話人が適宜必要に応じて個別にお願いをしておりますが、積極的な参加を期待しています。このシンポジウムに関するご意見ご質問などは、以下の世話人までお願いします。

1993年8月吉日

光天連シンポ世話人

上野宗孝、谷口義明

連絡先 〒153 東京都目黒区駒場3-8-1

東京大学教養学部宇宙地球科学教室

上野宗孝

TEL 03-3467-1171 内線403

FAX 03-3465-3925

e-mail ueno@kyohou.c.u.-tokyo.ac.jp

国際シンポジウム「New Horizon of X-ray Astronomy First Results from ASCA」

宇宙科学研究所の主催で、表記のシンポジウムを行います。

日時：1994年3月8日(火)～11日(金)
 場所：東京都立大学 国際交流会館
 八王子市南大沢1-1
 内容：「あすか」の能力と初期運用の成果，ROSAT，
 GRANAT，Compton (GRO) 衛星による最近の
 成果等

定員：150名

参加申し込み方法などは，下記にお問い合わせ下さい。

連絡先：〒229 神奈川県相模原市由野台3-1-1

宇宙科学研究所

楨野 文命

Tel 0427-51-3911 内線2621

Fax 0427-59-4253

e-mail horizon@astro.isas.ac.jp

ISOワークショップIII

「Japanese Guaranteed Time Observations」

日時：平成5年11月1日(月)13時～2日(火)16時

場所：宇宙科学研究所本館1階入札室

問い合わせは，天文センター田辺まで

(Tel 0422-34-3635)

研究会

『ラインX線・ガンマ線による天体物理(II)』

主催 科費重点領域研究『ラインX線・ガンマ線による天体物理』(代表者 野本憲一)

日時 1993年11月11日～12日(9:30～18:00)

場所 宇宙科学研究所・大会議室(本館2階)

内容 本領域の第一年次の研究はX線天文観測衛星「あすか」の打ち上げ成功，3月末に近傍銀河M81に出現した超新星1993Jの研究の進展等，順調に進み出しました。すでに「あすか」は多くの天体の観測を進めており，多くの新しいデータが得られつつあります。この成果を各計画研究，公募研究，また本領域に関連した研究に早期に採り入れていくことが，世界に先駆けた研究成果をあげる上で急務です。そのために，上記のような研究会を開催することにしました。研究会では，「あすか」によるX線観測の最新報告とともに，新星・超新星・超新星残骸，X-ray Binaries・Compact objects・ γ 線バースト源，AGN・銀河・銀河団等の天体を対象とした，ラインX線・ガンマ線による観測および理論的研究，機器開発について紹介，議論していただきたいと思っております。

講演申し込みなどのお問い合わせ先：

東京大学大学院理学系研究科天文学専攻 茂山俊和

e-mail shige@astron.s.u-tokyo.ac.jp

Tel. 03-3812-2111 (内) 4263

FAX. 03-3813-9439

「Shoemaker-Levy 9 彗星と木星との衝突」

開催日：平成5年11月17日(水)(講演数によっては18日午前まで)

場所：宇宙科学研究所本館2階会議場

連絡先：229 神奈川県相模原市由野台3-1-1

宇宙科学研究所 山本 哲生 宛

Tel: 0427-51-3911 内2629

Fax: 0427-59-4237,

e-mail: yamamoto@atoml.isaslanl.isas.ac.jp

世話人 市川 行和(宇宙研)

山本 哲生(宇宙研)

渡部 潤一(国立天文台)

「電子掲示板のお知らせ」

天文学・地学分野の研究者，教育者，そして関心のある一般のかたを対象に，パソコン通信による情報交流の場を設けています。アクセス電話番号は045-832-1177で24時間運用しています。アクセス速度は300～9600bps。接続後，bbsとタイプして下さい。ユーザー名とパスワードはいずれもguestです。Tri-PからはCXSPACEで接続できます。

他の研究，教育機関等で同様のサービスを構築されるかたのため，ソースプログラムも本システム上で公開しています。

WIDEプロジェクトの協力で運用している無料サービスです。

問い合わせ先

〒235 横浜市磯子区洋光台5-2-1

(財)横浜市青少年科学普及協会

担当 山田，渡辺

電話 045-832-1166

e-mail: yamada@yscvax.ysc.go.jp